

第22回全国産業教育フェア岡山大会
第20回全国高等学校ロボット競技大会
岡山県大会

- 1 期 日 平成24年8月8日(水)
- 2 会 場 岡山武道館
- 3 参加者 岡山県内の専門高等学校の生徒・教職員 他
- 4 主 催 岡山県教育委員会 岡山県高等学校工業教育協会
- 5 共 催 社団法人 岡山工業会
- 6 日 程
- (1) 受 付 10:00 ~ 10:30
- (2) 車 検 10:30 ~ 11:20
- (3) 公式練習 11:00 ~ 11:40
- (4) 開 会 式 12:00 ~ 12:30
- (ア) 開会のことば 生徒実行委員会副委員長 大塚飛馬(笠岡工業高校)
- (イ) 大会会長あいさつ 全国ロボット競技大会実行委員会委員長 中桐上雄(水島工業高校 校長)
- (ウ) 主催者あいさつ 岡山県高等学校工業教育協会理事長 高柳克彦(岡山工業高校 校長)
- (エ) 来賓祝辞 社団法人岡山工業会理事長 湯浅信夫
- (オ) 歓迎のことば 生徒実行委員会委員長 鳥井進太(岡山工業高校)
- (カ) 来賓・審査員紹介 全国ロボット競技大会実行委員会副委員長 砂川芳毅(東岡山工業高校 校長)
- (キ) 競技上の注意 審判部責任者 大月 剛(倉敷工業高校 教諭)
- (ク) 選手宣誓 國重尚大(東岡山工業高校)
- (ケ) 閉会のことば 生徒実行委員会副委員長 大塚飛馬
- (4) ロボット競技 12:50 ~ 15:20
- (5) 閉 会 式 15:30 ~ 16:00
- (ア) 開会のことば 生徒実行委員会委員長 鳥井進太
- (イ) 成績発表 生徒実行委員会副委員長 大塚飛馬
- (ウ) 講評 審査員長 五福明夫(岡山大学 大学院
自然科学研究科教授)
- (エ) 表彰 全国ロボット競技大会実行委員会委員長 中桐上雄
岡山県教育庁指導課総括副参事 文谷元信
社団法人岡山工業会理事長 湯浅信夫
- (オ) 全国高等学校
ロボット競技 全国ロボット競技大会実行委員会副委員長 白神憲一(笠岡工業高校 校長)
大会に向けて
- (カ) 閉会のことば 生徒実行委員会副委員長 大塚飛馬

7 参加申込み 県内11校 16チーム

※上位6校が全国大会出場の推薦チームとなる。

| | | | |
|--------------|------|------------|------|
| 岡山工業高等学校 | 2チーム | おかやま山陽高等学校 | 1チーム |
| 東岡山工業高等学校 | 2チーム | 笠岡工業高等学校 | 1チーム |
| 岡山理科大学附属高等学校 | 1チーム | 興譲館高等学校 | 2チーム |
| 岡山商科大学附属高等学校 | 2チーム | 津山工業高等学校 | 2チーム |
| 倉敷工業高等学校 | 1チーム | 新見高等学校 | 1チーム |
| 水島工業高等学校 | 1チーム | | |

8 結果 県内9校 14チームの参加で、予選準決（8チーム）、決勝（2チーム）で競技が行われ、全国大会推薦チームが決定した。

| 順位 | ゼッケンNo. | ロボット名 | 学校名 |
|----|---------|------------|-----------|
| 1 | 1 | 東工壺号 | 東岡山工業高等学校 |
| 2 | 2 | 東工弐号 | 東岡山工業高等学校 |
| 3 | 8 | 水工情報1号 | 水島工業高等学校 |
| 4 | 14 | ファンタスティック⑩ | 笠岡工業高等学校 |
| 5 | 4 | 興譲館2号 | 興譲館高等学校 |
| 6 | 3 | 興譲館1号 | 興譲館高等学校 |

県大会優勝
 県大会準優勝
 県大会3位

特別賞 技術賞（岡山県高等学校工業教育協会理事長賞）
 水工情報1号（水島工業高等学校）
 アイデア賞（社団法人岡山工業会理事長賞）
 ファンタスティック⑩（笠岡工業高等学校）

- 9 参加人員 競技者（生徒70名・教員21名）
 役員（生徒138名・教員58名）
 審査員（3名）
 【岡山大学教授・安田工業株式会社部長・岡山県工業技術センター専門研究員】
 来賓等（8名）
 【岡山工業会 他】
 一般見学者（多数）【教員・保護者・その他】

※マスコミ各社の取材があった
 ※合計350名ほどの来館者・参加者があった。

10 大会の様子
 □開会式



開会のことば



大会会長挨拶



工業教育協会理事長挨拶



岡山工業会理事長挨拶



生徒実行委員長挨拶



来賓・審査員紹介



競技上の注意



選手宣誓



全体風景

□ 競技



□ 閉会式



成績発表



講評



表彰式の様子



表彰式の様子



表彰式の様子



表彰式の様子



全国大会に向けて



全体風景



全体風景

【最後に】

各学校とも、創意工夫を凝らしたロボットで、複雑な操縦テクニックを駆使して一生懸命競技をしていました。

また、平成24年11月10日(土)・11日(日)岡山武道館にて開催される全国大会の出場が決定した、4校6チームの健闘をお祈りいたします。

なお、社団法人岡山工業会様より、物心両面からご援助いただき心よりお礼申し上げます。

<ロボット競技大会のルール概要>

ルール説明

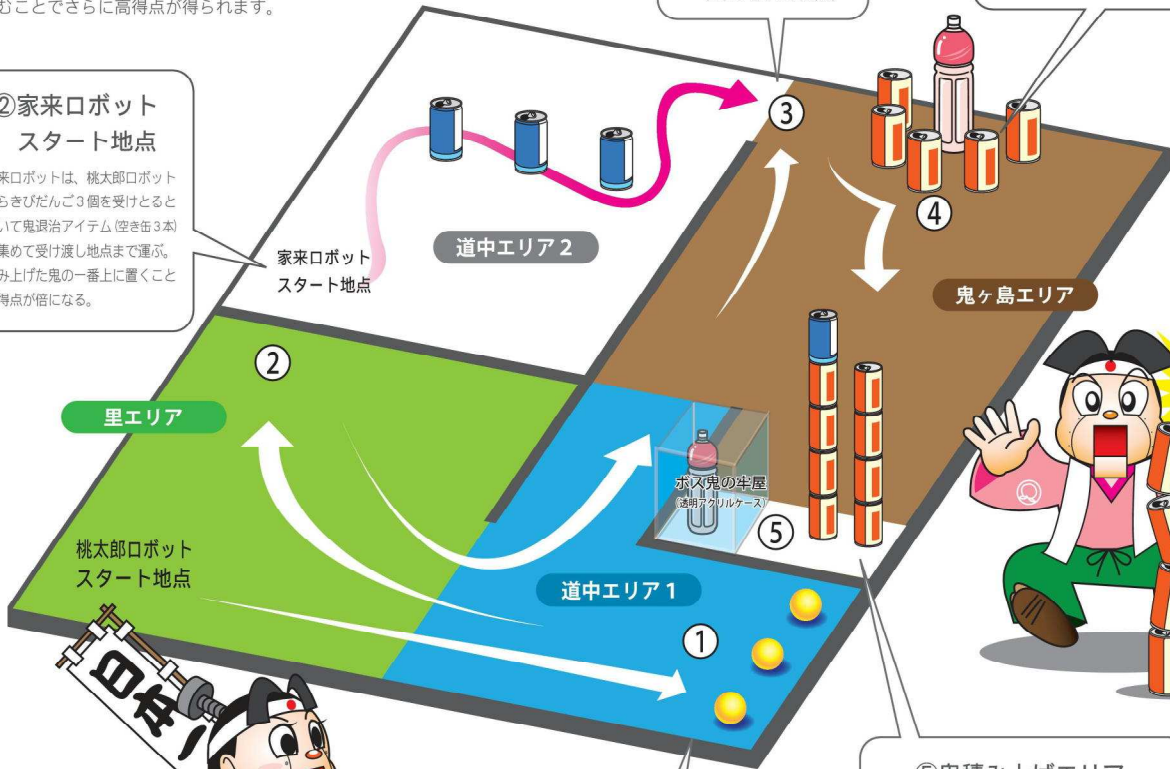
競技コートは3.6×3.6mの正方形で「里エリア」「道中エリア1」「道中エリア2」「鬼ヶ島エリア」の4つのエリアに分かれています。競技時間3分の中で、競技者は桃太郎ロボットを操縦し、鬼に見たてた空き缶を積み上げてそのポイントを競います。道中エリア2の中に置かれた3個の空き缶は、家来ロボットが自動で集めるボーナス得点用の鬼退治アイテムです。鬼退治アイテムを積み上げた鬼の一番上に積むことでさらに高得点が得られます。



④鬼の陣地
ボス鬼（PETボトル）を中心に、子分鬼（空き缶）を扇状に配置。子分鬼には3種類の大きさがありそれぞれ積み上げたときの得点が違う（10点・30点・50点）

③鬼退治アイテム 受け渡し地点

②家来ロボット スタート地点
家来ロボットは、桃太郎ロボットからきびだんご3個を受けると動いて鬼退治アイテム（空き缶3本）を集めて受け渡し地点まで運ぶ。積み上げた鬼の一番上に置くことで得点が倍になる。



⑤鬼積み上げエリア
桃太郎ロボットは鬼たちを捕らえて積み上げる。たくさん積み上げることで得点が高くなる。このとき一番上に鬼退治アイテムを積むことでボーナスポイントを得ることもできる。またボス鬼（PETボトル）を牢屋に立てて入れると200点が加算される。

①きびだんご
桃太郎ロボットは、きびだんご3個（ゴルフボール）をとって②に移動し、家来ロボットに渡す。

